



株式会社ネオテック

環境経営レポート



対象期間：2025年4月1日～2026年3月31日

発行日：2026年6月5日

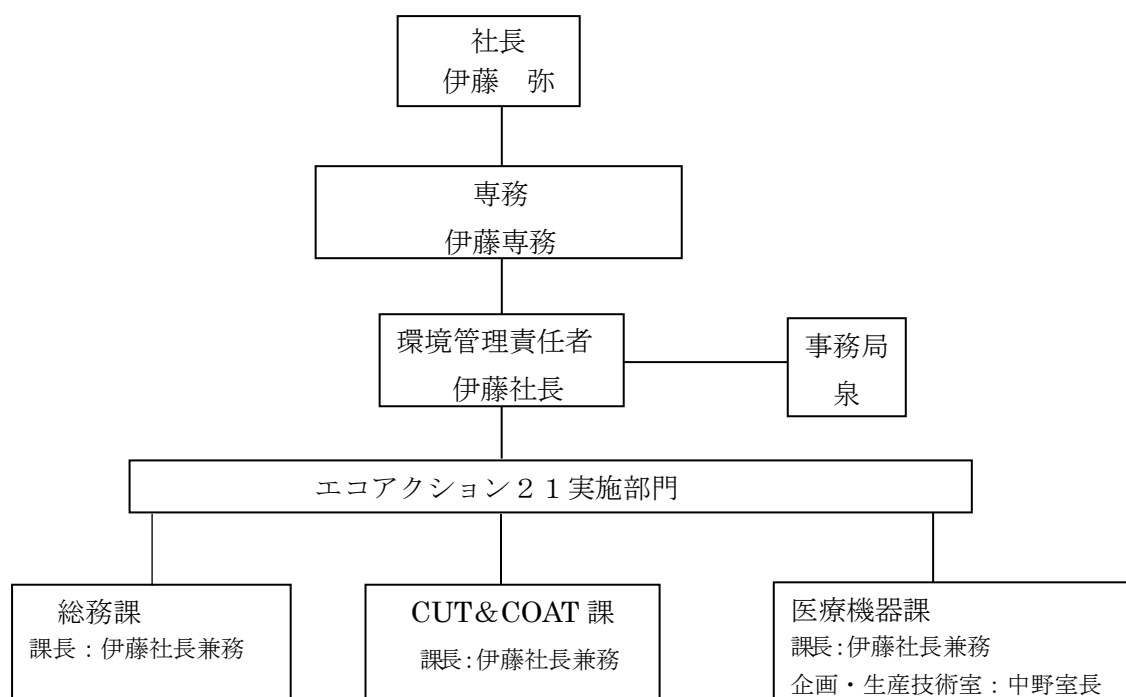
目次	ページ 1
1. 組織の概要	ページ 2
1－1 認証登録の事業所	
1－2 組織図	ページ 3
2. 対象範囲（認証・登録範囲）	ページ 4
3. 環境経営方針	ページ 4
4. 環境経営目標	ページ 5
5. 環境経営計画・実施方法	ページ 6, 7
6. 環境経営目標の実績	ページ 8
7. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組課題	ページ 9
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認 及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	ページ 10
8－1 環境美化清掃、環境上の緊急事態に対する訓練、環境教育の実施	ページ 11
9. 代表者による全体評価と見直しの結果	ページ 12

1. 組織の概要

1-1 認証登録の事業所

事業所名		株式会社　ネオテック		
所在地		神奈川県足柄上郡山北町平山１３２－９		
代表者		代表取締役　伊藤　弥		
事業内容		自動車部品加工、特殊表面処理、医療機器製造		
環境関係 受付窓口	環境管理責任者	C&C 課、医療機器課、総務課課長　伊藤　弥		
	担当窓口	総務課		
	T E L ／ F A X	0465-79-1501／0465-79-1502		
	E ー m a i l	info@neotec.ne.jp		
事業規模	設立	2000 年 12 月 27 日		
	資本金	990 万円		
	延床面積	3,106m ²		
	主要製品生産高・売上高	C&C 課　CUT (ボルト等)	主要製品売上高：502 百万円	
		C&C 課　COAT (バスケット等塗装)		
		医療機器課 (ガイドワイヤー等)		
	従業員	58 名	2026 年 3 月 31 日現在	

1-2 エコアクション21実施体制及び組織



	役割・責任・権限
社 長	1. 環境管理責任者の任命 2. 環境経営方針の制定 3. 環境経営システムの実施および管理に必要な資源の準備 4. 環境経営システムの定期的見直しの実施 5. 社内情報の外部公開可否決定
環境管理責任者	1. 環境経営システムの確立、実施、維持、継続的改善 2. 社長への環境経営システムの実施状況報告 3. 推進機関であるE A 2 1 EMSの事務局の責任者として事務局運営 4. それぞれの業務・役割に応じ、必要な教育訓練を適切に計画・実施する 5. 関連法規の取りまとめ表の維持管理、遵守徹底 6. 環境経営関連文書類の作成・整理
事務局	1. 環境管理責任者の補佐 2. 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 3. 環境経営の実績集計、環境経営関連法規等取りまとめ表の作成 4. 環境経営関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 5. 環境経営関連の外部コミュニケーションの窓口、環境経営レポートの作成
部門責任者	1. 自部門における環境経営システムの実施、環境経営方針の周知、従業員に対する教育訓練の実施、自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 2. 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 3. 特定された項目の手順書作成及び運用管理 4. 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト、訓練を実施、記録の作成 5. 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
従業員	1. 環境経営方針を理解し、部門の環境経営活動に従って活動する。

2. 対象範囲（認証・登録範囲）

取組の対象組織・活動：株式会社 ネオテックの全組織・全活動・全従業員

所在地：神奈川県足柄上郡山北町平山 1 3 2－9

3. 環境経営方針

添付 1

株式会社ネオテック環境経営方針

<環境理念>

当社は気候変動を考慮し、環境の維持、改善に努め、地域社会と地球環境の保全に貢献します。

<環境経営方針>

- 1.当社は環境負荷の低減や環境改善を図るため、次の事項に重点的に取り組みます。
 - (1) 地球温暖化防止のため二酸化炭素排出量の削減に努めます。
 - (2) 廃棄物の削減及び適正処理、リサイクルの推進に努めます。
 - (3) 節水に努めます。
 - (4) 技術的に削減可能な化学物質使用量の削減に努めます。
 - (5) グリーン購入に努めます。
 - (6) 製品の生産に於いて、コスト低減を通じて環境負荷の低減に繋がる提案活動に取り組みます。
- 2.環境改善活動状況を確認し、改善及び是正を行い、環境経営マネジメントシステムの維持、継続的改善に努めます。
- 3.環境に関する法規、規制及び当社が同意したその他の要求事項を遵守します。
- 4.環境目的・目標を設定し、必要に応じて見直しを行います。
- 5.環境経営方針は、文書化し、かつ従業員に周知するとともに、社外に公開します。

制定：2020 年 4 月 1 日

改訂：2025 年 4 月 1 日

株式会社ネオテック

代表取締役 伊藤 弥

4. 環境経営目標

環境経営目標

添付 2

環境経営目標	基準(実績)		年度目標	中期目標		
	2025年度		2026年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
1. 二酸化炭素排出量の削減	19,673 kg-CO ₂ (435,208) kg-CO ₂		基準年度比 5.0 %削減 18,689 kg-CO ₂	前年度比 維持 18,689 kg-CO ₂	前年度比 維持 18,689 kg-CO ₂	前年度比 維持 18,689 kg-CO ₂
1.1 電力使用量の削減 ⁽¹⁾	1,065,476 kWh 0 kg-CO ₂ (415,535) kg-CO ₂		基準年度比 維持 1,065,476 kWh 0 kg-CO ₂	前年度比 5.0 %削減 1,012,202 kWh 0 kg-CO ₂	前年度比 3.0 %削減 981,836 kWh 0 kg-CO ₂	前年度比 維持 981,836 kWh 0 kg-CO ₂
1.2 自動車燃料使用量の削減	7,904 L 19,673 kg-CO ₂		基準年度 5 %削減 7,509 L 18,689 kg-CO ₂	前年度比 維持 7,509 L 18,689 kg-CO ₂	前年度比 維持 7,509 L 18,689 kg-CO ₂	前年度比 維持 7,509 L 18,689 kg-CO ₂
2. 廃棄物排出量の削減 ⁽²⁾	一般廃棄物	2,405 kg	基準年度比 5 %増加 2,525 kg	前年度比 3.0 %削減 2,449 kg	前年度比 3.0 %削減 2,376 kg	前年度比 2.0 %削減 2,328 kg
	産業廃棄物	15,770 kg	基準年度比 10 %削減 14,193 kg	前年度比 10 %削減 12,774 kg	前年度比 3.0 %削減 12,390 kg	前年度比 2.0 %削減 12,143 kg
3. 水資源投入量の削減	600 m ³		基準年度比 5 %削減 570 m ³	前年度比 維持 570 m ³	前年度比 維持 570 m ³	前年度比 維持 570 m ³
4. 化学物質使用量の削減	3,000 kg		基準年度比 40.0 %削減 1,800 kg	前年度比 10 %削減 1,620 kg	前年度比 維持 1,620 kg	前年度比 維持 1,620 kg
5. グリーン購入	34品目		30品目以上	30品目以上	30品目以上	30品目以上
6. 自らが提供する製品及びサービスに関する環境配慮	生産に直接関係して材料・工数等の低減に繋がる改善提案件数 39件		生産に直接関係して材料・工数等の低減に繋がる改善提案件数 40件以上	同左 40件以上	同左 40件以上	同左 40件以上
7. 品質目標 不良低減	C&C課 7件 医療機器課 0件 納期遅延 0件 社内改善提案 46件		C&C課 0件 医療機器課 0件 納期遅延 0件 社内改善提案 60件	毎年度設定	同左	同左

注(1) 日本テクノ(株)からの購入電力のCO₂排出係数:0.000を適用。R6年度実績 R8.1.9経産省・環境省公表

注(2) 二酸化炭素排出量及び電力使用量の基準年の()内の数値は前年度までの使用係数0.390に基づく数値を記載

注(3) 産業廃棄物は、m³での契約の為弊社のにおける産業廃棄物係数0.35/m³を適用。

(排出実績を考慮し従来の係数0.5825/m³からの見直しを実施。 2023.4.1)

5. 環境経営計画・実施方法

承認	作成
2025/5/21	2025/5/21
伊藤(弥)	泉

2025年度環境経営計画・実施方法

添付3

基準年度:2024年度					
NO.	中期目標(2026年度)	年度目標(2025年度)	施策	責任者	具体的方法
1	二酸化炭素排出量の削減 前年度比5.0%削減 451,575kg-CO ₂	475,342kg-CO ₂	1. 節電の徹底 2. エコドライブの徹底	総務課長 CUT&COAT課長 医療機器課課長	1. 節電の徹底 (1)各課毎に自部署が主として使用する部屋の節電を図る。 (共通部分は総務課が担当) (2)不使用時、不在時の照明等の消灯を徹底する。 2.エコドライブの徹底 (1)運転者にエコドライブの徹底を図る為、安全運転及びエコドライブの資料を毎月回覧する。 (2)配送・送迎を計画的に実施し、無用な運行を削減する。
1.1	電力使用量の削減 前年度比5.0%削減 1,110,084kWh 432,933kg-CO ₂	1,168,509kWh 455,719kg-CO ₂	1. 節電の徹底	総務課長 CUT&COAT課長 医療機器課長 CUT COAT 医療 総務	(1)不在時、不使用時の消灯の徹底、休憩・残業時の事務所照明50%OFFを実施する。 (2)長時間の離席及び退社の際はパソコンモニターの電源OFFを実施する。 (3)空調設備の定期的な清掃の実施と作業終了15～30分前の電源OFFを心掛ける。 (4)消し忘れ等が無いよう最終退出者が確実に確認を実施する。 作業分担を進めて残業時間を低減する。 作業計画を詳細につめて無駄のない人員配置から残業時間を低減する。 工程確認検討会実施による改善提案から工数等低減により残業時間を低減する。 工数(人員)増加による作業分担見直しから残業時間を低減する。
1.2	自動車燃料使用量の削減 前年度比5.0%削減 7,504ℓ 18,642kg-CO ₂	7,899ℓ 19,623kg-CO ₂	1. エコドライブの徹底	総務課長 CUT&COAT課長 医療機器課長 COAT 総務	(1)全従業員にエコドライブ、安全運転の資料を回覧しその重要性について再認識してもらう。 (2)配送、送迎を計画的に実施し、無用な運行を削減する。 (3)アイドリングストップを励行する。 (4)社有車に「エコドライブ:急発進、急加速禁止」のステッカーを貼付ける。 (5)ドライブレコーダーを設置し安全運転、エコドライブの両立を図る。 受注状況に応じた配送回数の継続する。 従業員送迎時の無駄の少ない配車・送迎を実施する。
2	廃棄物排出量の削減 一般廃棄物 前年度比3.0%削減 2,541kg 産業廃棄物 前年度比10%削減 14,324kg	2,619kg 15,916kg	1. 分別の徹底 1. ロスを出さない生産活動 2.リサイクルの実施	総務課長 CUT&COAT課長 医療機器課長 総務課長 CUT&COAT課長 医療機器課長 COAT	(1)廃棄物置場に写真表示をして資源物、廃棄物分別の徹底を図る。 (2)リサイクル可能な雑誌、カタログ、段ボール等を有価物とする。 (3)物を受け取る際は、必要・不必要をよく吟味の上必要ない物は極力受け取らない。 (3)-1不要DMの停止依頼により廃棄物削減に努める。(ビニール類等は産廃削減にも繋がる) (1)材料ロス低減(手直し低減)に取り組む。品質環境改善活動計画による。 (2)廃棄する際に可能な限り圧縮、減量して廃棄する。 (3)化学物質を適正に管理・使用する。 (4)リサイクル可能な金属クズ等を有価物とする。 (5)従業員からの改善提案を積極的に募り、情報を周知・共有し廃塗料等の削減を図る。 ・循環設備を効率よく稼働し化学物質使用量(購入量)・廃液の削減に繋げる。 ・塗料の調合は必要最低限とし、廃棄にならないようにする。(従来は調合が難しいものは多めに調合していたが、注文が入らなかった場合廃棄となっていたため)使用量削減も同様とする。 ・材料ロス低減(手直し低減)を推進する。 ・廃プラスチックの有価物化について調査する。

3	水使用量の削減 前年度比維持 556m ³	556m ³	1. 節水意識の向上	総務課長 CUT&COAT課長 医療機器課長 総務	(1)水量計の定期的な確認を行い、使用量に異常がないか確認する。(衛生巡視時確認) (2)小便器の使用前自動洗浄を止める。 (3)トイレに擬音装置を設置し水洗回数を減らす。 (4)室外機への散水を中止する。(空調設定温度見直しにより電力負荷が低減した為) (5)蛇口に「節水励行」のステッカーを貼付する。 ボットの残り湯は清掃、噴霧器に使用し無駄のない利用を心掛ける。 噴霧器の残りについても清掃に使用する。
4	化学物質使用量の削減 前年度比10%削減 2,989kg	3,321kg	1. ロスを出さない生産活動	CUT&COAT課長 COAT (産廃施策と同様)	(1)材料ロス低減(手直し低減)に取り組む。品質環境改善活動計画による。 (2)化学物質を適正に管理・使用する。 (3)従業員からの改善提案を積極的に募り、情報を周知・共有し使用量を削減する。 循環設備を効率よく稼働し、化学物質使用量(購入量)・廃液の削減に繋げる。 塗料の調合は必要最低限とし、廃棄にならないようにする。(従来は調合が難しいものは多めに調合していたが、注文が入らなかった場合廃棄となっていたため)使用量削減も同様とする。
5	グリーン購入 30品目以上	30品目以上	1. グリーン購入を継続・推進する。	総務課長	(1)事務用品発注者に朝礼を活用し毎月1、15日にグリーン購入について進捗等の情報共有を図る。 (2)事務用品を中心にエコ品の購入を図る。 (3)日常における事務用品発注時に、エコ品への切り替えが可能か調査・検討する機会をつくる。
6	自らが提供する製品及びサービスに関する環境配慮 生産に直接関係して材料・工数等の低減に繋がる改善提案件数 30件以上	環境設計の実施 生産に直接関係して材料・工数等の低減に繋がる改善提案件数 30件以上	生産に直接関係して材料・工数等の低減に繋がる改善提案件数 30件以上	CUT&COAT課長 医療機器課長 総務課長	社内改善提案目標60件のうち、生産に直接関係して材料・工数等の低減に繋がる改善提案件数を30件以上とする。 各課で取組み・フォローを実施していく。
7	品質目標 CUT&COAT 0件 医療 0件 納期遅延 0件 社内改善提案 60件	CUT&COAT 0件 医療 0件 納期遅延 0件 社内改善提案 60件	不良低減 社内改善提案	CUT&COAT課長 医療機器課長 総務課長	2024年度の苦情及び工程内不良の分析を行い、不良低減に繋げる。 2025年度は、全体目標を部署毎の人数によって割り振り、各課で取組み・フォローを実施していく。 提出された提案は、通用口へ掲示し周知・共有を図る。 全体会において、提案内容を発表して従業員へ周知する。
NO.	評価・確認 月日	評価・確認者	評価・確認事項	評価・確認結果、コメント、是正処置等	
1 1.1 1.2 2 3 4 5 6 7	2026.5.11	伊藤社長 泉	二酸化炭素排出量 電力使用量 自動車燃料使用量 一般廃棄物 産業廃棄物 水資源投入量の削減 化学物質使用量削減 グリーン購入 材料・工数の低減に繋がる改善提案 品質目標 不良低減 改善提案	下記1.1、1.2に同じ 設備更新が無い中ではあるが、こまめな消灯等の施策を実施する事が出来た。また作業分担等により残業時間は大きく削減する事が出来た。受注による配送は継続出来ている。しかし酷暑によるエアコン使用の影響も大きく少しのところで目標未達となった。 分別廃棄は実施出来ている。この取組みを継続する。 廃ブラの増加が大きな課題だったが、有価物化へ向けて大きく前進した。2026年度はこの取組みを確実なものへ進めていく。 目標は未達となったが、無駄のない使用は継続出来ている。この基本的取組みを確実に実施していく。 仕事の変化がある中ではあったが、ロスの出ないような調合は実施出来ている。基本的な取組みを継続する。 資材の価格高騰の影響は大きいですが、価格とのバランスをみながらにはなるが、切替可能なものは切替を行っていく。 製造部署は、工程確認検討会の実施を通して改善提案に繋げていく。総務課は朝昼のM/Tを通して改善提案につなげていく。 不良発生は目標未達だったが、その後の対応は良くなっている。異常明示表の発行、2025年度ヒューマンエラー等を分析して再発を抑止する。 2部署で目標を達成する事が出来た。製造部署は、工程確認検討会の実施を通して改善提案に繋げていく。	

6. 環境経営目標の実績

添付4

環境経営目標	年度実績			年度目標	運用実績	
	2022年度	2023年度	2024年度 (基準年)	2025年度	2025年度	
					実績	達成度(基準年度比)
1. 二酸化炭素排出量の削減	525,086 kg-CO ₂ (466,352) kg-CO ₂	471,652 kg-CO ₂ (418,566) kg-CO ₂	433,913 kg-CO ₂ (489,151) kg-CO ₂	基準年度比9.5%増加 475,342 kg-CO ₂	435,208 kg-CO ₂	達成8.4%削減
1.1 電力使用量の削減 ⁽¹⁾	1,126,895 kwh 498,088 kg-CO ₂ (439,489) kg-CO ₂	1,020,877 kwh 451,228 kg-CO ₂ (398,142) kg-CO ₂	1,062,281 kwh 414,290 kg-CO ₂ (469,528) kg-CO ₂	基準年度比10%増加 1,168,509 kwh 455,719 kg-CO ₂	1,065,476 kwh 415,535 kg-CO ₂	達成8.8%削減
1.2 自動車燃料使用量の削減	10,903 ℓ 26,863 kg-CO ₂	8,216 ℓ 20,424 kg-CO ₂	7,899 ℓ 19,623 kg-CO ₂	基準年度維持 7,899 ℓ 19,623 kg-CO ₂	7,904 ℓ 19,673 kg-CO ₂	未達0.06%増加
2. 廃棄物排出量の削減	3,157 kg	2,278 kg	2,381 kg	基準年度比10%増加 2,619 kg	2,405 kg	達成8.1%削減
	22,976 (15,610) kg	14,010 kg	13,840 kg	基準年度比15%増加 15,916 kg	15,770 kg	達成0.9%削減
3. 水資源投入量の削減	562 m ³	558 m ³	556 m ³	基準年度維持 556 m ³	600 m ³	未達7.9%増加
4. 化学物質使用量の削減	4,203 kg	3,166 kg	3,163 kg	基準年度比5%増加 3,321 kg	3,000 kg	達成9.7%削減
5. グリーン購入	28 品目	36 品目	32 品目	30 品目	34 品目	達成
6. 自らが提供する製品及びサービスに関する環境配慮	環境配慮設計実施 客先にコスト削減の 為の提案を行う 3件	環境配慮設計実施 客先にコスト削減の 為の提案を行う 5件	環境配慮設計実施 客先にコスト削減の 為の提案を行う 6件	環境配慮設計実施 生産に直接関係して 材料・工数等の低減に 繋がる改善提案件数 30件	環境配慮設計実施 生産に直接関係して 材料・工数等の低減に 繋がる改善提案件数 39件	達成
7. 品質目標	不良低減 C&C 12件 医療 0件 納期遅延 0件 改善提案 31.8万円	不良低減 C&C 11件 医療 1件 納期遅延 0件 改善提案(件数) 30件	不良低減 C&C 4件 医療 0件 納期遅延 0件 改善提案(件数) 47件	不良低減 C&C 0件 医療 0件 納期遅延 0件 改善提案(件数) 60件	不良低減 C&C 7件 医療 0件 納期遅延 0件 改善提案(件数) 46件	未達 達成 未達

注(1) 購入電力のCO₂排出係数:0.442を適用。 R3.1.7経産省・環境省公表

注(2) 二酸化炭素排出量及び電力使用量の()内の数値は、2025年度から採用するCO₂排出係数0.390での数値を記載

注(3) 2025年12月より電力会社を東京電力エナジーパートナーから日本テクノへ変更。日本テクノ CO₂フリーメニュー: 排出係数0.000

期の途中での電力会社変更のため、東京電力エナジーパートナーの排出係数0.390をそのまま使用してCO₂排出量を算出

注(4) 産業廃棄物は、m³での契約の為弊社のにおける産業廃棄物係数0.35/m³を適用。2022年度の()内の数値は現係数にて再算出

(排出実績を考慮し従来の係数0.5825/m³からの見直しを実施。 2023.4.1)

7. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取り組む課題

基準年度：2025年度				添付5	
N O .	中期目標 (2026年度)	年度目標	運用実績	実施状況	次年度の取組み
		2025年度	2025年度		
1	二酸化炭素排出量の削減 前年度比5%削減 18,689kg-CO ₂	475,342 kg-CO ₂ (19,623)	435,208 kg-CO ₂ (19,673)	下記1.1、1.2の通り	下記1.1、1.2の通り
1.1	電力使用量の削減 前年度比5%削減 1,012,202kWh 0kg-CO ₂	1,168,509 kWh 455,719 kg-CO ₂	1,065,476 kWh 415,535 kg-CO ₂	大きな電力削減に繋がる設備の更新は出来なかった。不在時不使用時の消灯等の徹底等のこまめな節電等を実施した。	電力削減に繋がる設備更新は予定されていないため、引き続きこまめな消灯等の取り組みを実施すると共に改善提案による工数削減等による電力資料量削減に取り組む。
1.2	自動車燃料使用量の削減 前年度維持 7,899L 19,623kg-CO ₂	7,899 L 19,623 kg-CO ₂	7,904 L 19,673 kg-CO ₂	受注量に応じた配送は継続出来ている。エコドライブ資料の回覧も継続しておりその意識は継続出来ている。	エコカー導入等の計画はなく、引き続き無駄のない運行・エコドライブ資料の回覧等を継続しエコドライブの意識を浸透させる。
2	廃棄物排出量の削減 前年度比5%削減 一般廃棄物 2,525kg 前年度比10%削減 産業廃棄物 14,193kg	一般廃棄物 2,619 kg 産業廃棄物 15,916 kg	一般廃棄物 2,405 kg 産業廃棄物 15,770 kg	不要DMの停止、廃液削減に繋がる受注に応じた調合等の取り組みを実施した。一般・産業廃棄物共に分別廃棄が継続出来ている。廃プラスチックは近隣の業者を中心に問合せ等を実施し有価物化へ取り組んだ。	有価となる物、リサイクルできる物を確実に分別していく。廃液については劣化による廃棄を防ぐ為適正な管理・使用に注力する。廃プラスチックは有価物化に向けて業者が見つかったため、確実に実施していく。
3	水使用量の削減 前年度比5%削減 570m ³	556 m ³	600 m ³	ボットの残り湯は清掃に使用する等無駄のない利用を心掛けて朝礼等で共有した。	噴霧器は残量が残らないように無駄なく使用する。ボットの残り湯も無駄の無いように使用する。
4	化学物質使用量の削減 前年度比40%削減 1,800kg	3,321 kg	3,000 kg	受注に応じた調合を行う等使用量と廃液削減に繋がる取り組みを継続して実施した。	受注に応じた調合の取組みから適正な使用・管理を継続する。
5	グリーン購入 30品目以上購入	30品目以上購入	34 品目	朝昼礼において、進捗状況の情報共有を行いながらグリーン購入を実施した。	価格とのバランスを考慮しながら切替可能な物について切替えを進めていく。朝礼で情報共有しながら可能な物について切替を実施していく。
6	環境配慮設計 生産に直接関係して材料・工数等の低減に繋がる改善提案件数 40件以上	生産に直接関係して材料・工数等の低減に繋がる改善提案件数 30 件	39 件	各部署毎に部門M/T等を通して取組み・フォローを実施した。	各部署毎に引き続き取組み・フォローを実施する。製造部署は工程確認検討会の実施から改善提案へと繋げていく。
7	品質目標 不良低減 C&C課 0件 医療機器課 0件 納期遅延 0件 社内改善提案 60件	不良低減 C&C課 0件 医療機器課 0件 納期遅延 0件 社内改善提案 60件	不良低減 C&C課 4件 医療機器課 0件 納期遅延 0件 社内改善提案 47件	品質改善活動計画に基づき実施	不良低減 些細な事でも異常品明示表を発行する。ヒューマンエラーの2025年度発生事案を分析して再発を抑止する。 社内改善提案 製造部署は、工程確認検討会の実施を通して改善提案に繋げる。総務課は朝、昼礼のM/Tを通して改善提案活動に繋げる。

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

8-1

(1)関係する環境関連法規等取りまとめ表に基づいて確認した結果は下記のとおり。

遵守状況：○違反なし、×要改善

環境関連法規等	遵守状況
1. 廃棄物の処理及び清掃に関する法律	○
2. プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律	○
3. 神奈川県環境基本条例	○
4. 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律	○
5. フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律	○
6. 毒物及び劇物取締法	○
7. 消防法・危険物関係	○
8. 神奈川県生活環境の保全等に関する条例	○
9. 小田原市火災予防条例	○

(2)違反、訴訟の有無

当社は環境に関連して適用する法規、条例等を遵守しており、環境についての行政からの指摘、近隣による訴訟はありません。また当事業所は過去3年間、行政、近隣からの環境関連法規等に関する違反、指摘、訴訟はありません。

8-2

(3)環境美化清掃活動

当社では環境整備及び近隣との良好な関係を継続するために定期的に工場外周の清掃を安全衛生委員によって行っています。



2025 年度工場外周清掃実施日

2025 年 7 月 8 日 (火)

2025 年 10 月 23 日 (木)

2026 年 3 月 2 日 (月)

(4)避難訓練及び環境緊急事態想定訓練の実施

避難訓練の際に、消防署より借用した水消火器で初期消火訓練を実施しました。それに併せて危険物流出防止訓練を実施しました。

また、11月5日には防火安全協会の防災訓練が実施されて5名が参加しました。初期消火訓練と合せて多くの従業員が防災に繋がる訓練を実施出来た事は有効となります。

実施日 2025年11月14日(金) 14:45～



(5)環境教育の実施

社内には、環境社会検定試験（eco検定）の合格者（エコピープル）が2名います。2025年度も全体会において、年間4回の環境教育を実施しました。実施する内容については2名のエコピープルがそれぞれ内容を各自で考えて実施しました。

全体会をお休みした方には、全体会資料として資料の回覧を実施しています。

環境教育実施日

2025年6月2日(月)	廃棄物の区分について
2025年9月1日(月)	CO2の経年変化について
2025年12月1日(月)	紙ストローについて
2026年3月2日(月)	極端な大雨、高温の増加について



9. 代表者による全体評価と見直しの結果（見直し実施日：2026年5月29日）

(1) 全体評価

電力使用量 達成	2025年度も設備更新等の電力削減に繋がる施策は無い状況であったが、こまめな消灯等の基本的取組は浸透・意識されている。
燃料使用量 未達	受注に応じた配送は継続できていたが、残念ながら僅かなところで目標未達となった。走行距離が延びたのもあるが酷暑が続くなか、エアコンの使用も大きな影響を与えた事が原因と考えられる。 ガソリンの価格高騰もあり、引き続きエコドライブ・無駄のない運行が求められる。
二酸化炭素排出量 達成	電力・燃料ともに人の力による取組みが大きい。2025年度後半から電力会社を変更しCO2フリーとなったため2026年度からは燃料使用量のみでのCO2排出量を算定する。
廃棄物排出量 一般廃棄物 達成	分別廃棄は実施出来ている。廃棄物に対する意識は従業員にも根付いていて環境教育の影響もあると思われる。
産業廃棄物 達成	課題であった廃プラスチックの有価物化へ大きく進んだ1年となった。本格的な有価物化は2026年度からになるが、廃棄物削減へ繋がる大きな取組みとなる為確実に実施したい。
水使用量 未達	2025年度は、敷地内の花壇整備等を実施し多くの水を使用した事が影響した。基本的な取組である無駄のない利用は実施出来ている為、この取組みを継続する。
化学物質使用量 達成	2025年度も積み増し生産があり、想定が難しい状況であった。無駄の出ないような調合の実施は廃液ロスにも繋がり適正な使用・管理にも繋がる良い取り組みだった。
グリーン購入 達成	資材の価格高騰は続いている。価格とのバランスを考慮しながらにはなるが、この取組みを継続する。
材料・工数低減に 繋がる改善提案 達成	2025年度より自社で取り組んでいる改善提案制度に関連付けて、材料・工数の低減に繋がる改善提案件数を目標としたが、目標を上回る件数が提出された。この取り組みは自社の効率化にも大きく影響する為、継続していく。
品質目標 不良低減 未達 改善提案 未達	上期に2件の不良が発生して、下期に改めて下期の不良0件という目標を掲げたが残念ながら下期に5件の不良が発生した。ただし、不良発生後の対応は以前に比べて良くなっている。マネジメントシステムを全体に広げる意識は出ているので継続して全体でシステム運用出来る状態を目指す。 改善提案は、部署の目標に未達だった部署は改善提案が増える取り組みを実施してほしい。
全体を通して	2025年度は、会社にとって転換の年だったと思われる。生産品も自動車から医療へ大きくシフトしていく1年となった。医療へシフトしていく事により環境負荷は自動車より少なくなっていく事が予想されるが、ここ数年続けている従業員への環境教育を継続して社内の環境意識高揚に繋げていきたい。

(2) 見直しの結果

評価結果に基づく変更の要否の判断は、次の通りとした。

①環境経営方針：変更しない。

②環境経営目標：変更する。

当社の場合、毎年受注量、受注内容の変動が大きい為、それらの影響を受ける環境経営目標の各項目が毎年大きく変動する。そのため、長期間を予測した目標を定めるのは困難である。

グリーン購入については、中期目標通りに進める。

それ以外の項目は2025年度を基準として目標値を定める。

③環境経営計画：変更する。

上記②の変更に従って、2026年度の環境経営計画を変更する。

④環境経営システム：変更しない。

以上